

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	白根総合公園屋内プール			
管理者名	(公財)新潟市開発公社	指定期間	平成31年4月1日	～ 令和6年3月31日
担当課	南区役所地域総務課			
所在地	区名	南区	住所	南区上下諏訪木1775番地1
根拠法令	スポーツ基本法・都市公園法			
設置条例	新潟市都市公園条例			
施設概要	敷地面積 7,742.35㎡, 延床面積 2,085.13㎡ 建物構造 鉄筋コンクリート造平屋建(プール屋根は鉄骨造) 主要施設 2.5Mプール×6コース 2.2M歩行用プール×2コース 幼児用プール 男子・女子ロッカー室, シャワー室 車いす利用者用更衣室, シャワー室 見学スペース			

施 設 設 置 目 的
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 , 方 針 等
(1)新潟市体育施設条例並びに新潟市都市公園条例(以下「条例」という。)に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。
(2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用を確保すること。
(3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。
(4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。
(5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。
(6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。
(7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
(8)指定管理者制度を理解し、実践すること。
(9)本市施策の方向性(南区の健康増進施策の方向性である、健康づくりや運動の習慣)にあった自主事業の提案・実施に努めること。

令和4年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	・ホームページアクセス数(白根総合公園屋内プール)が年間24,000件以上	28,141件	A	目標大幅達成
	基準利用者数の達成	・年間利用者数 33,000人以上	34,306人	B	目標達成
	各種サービス別満足度	・利用者アンケートで「満足」が70%以上	「満足」「やや満足」が86.9%	A	目標大幅達成
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には7営業日以内に回答 ・苦情対応マニュアル整備	適切に対応している	B	目標達成
	地域連携・社会貢献活動	社会貢献活動(地域連携事業)年1回以上実施	社会貢献活動(ボランティア清掃)への参加	B	目標達成
	本市施策に合致したサービス提供	・本市施策に合致した自主事業(スポーツ教室等)を年間20件以上実施 ・事業参加者 年間延べ1,500人以上	24件、1,491人	C	目標未達成

財 務	管理運営経費削減への取り組み	・省エネ及び環境に配慮した経費削減の取組を実施	・電力会社の入札による選定 ・シャワーに節水装置導入 ・暖房節約の為、プール室ロールカーテン使用、更衣室の調整	B	目標達成
	市の歳入の増加	・使用料収入を年間7,800千円以上	7,851,880円	B	目標達成
業 務	事業計画・事業報告の適切さ	・事業報告が分かりやすく、かつ正確である ・事業報告の締切厳守	遵守	B	適正に実施
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・危機管理マニュアルの職員周知 ・防災訓練年1回以上実施	・管理マニュアルの保有 ・全体研修実施 ・消防訓練年2回実施	B	適正に実施
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・利用者の安全確保のための対応が整理されているか(避難の誘導や蘇生対応等) ・警察や消防への連絡体制が整備されているか ・市の主管課への連絡体制が整備されているか ・事件・事故対応訓練や講習を年1回以上実施	・緊急連絡網の整備 ・事故発生時のマニュアル整備 ・応急手当普及員による救命講習会を実施	B	適正に実施
	自己管理システム	・事業報告書において、業務の自己点検と業務への反映についての具体的記載	月例報告書及び完了報告書での利用状況分析・自己評価	B	適正に実施
	事故防止の取組	・補償を伴う事故発生件数0件	該当なし	B	目標達成
	関係法令の遵守	・個人情報保護、情報公開及びコンプライアンスに関する研修1回以上	・WEB研修実施 ・全体研修実施	B	適正に実施
	業務基準書等に定める事項の遵守	・その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守	B	適正に実施
人 材	配置人員のスキルの習得度	・職員研修を年1回以上実施	計画的に研修を実施	B	適正に実施
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守	遵守	B	適正に実施

【評価基準】

- A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
 B:要求水準(評価指標)が達成されている
 C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。
 (評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

コロナ禍の影響があったものの、施設体館も無く、感染症対策を施した中での活動が広まっていた為、利用者数・使用料収入とも、目標を達成することができた。コロナ禍前の数値には及ばないが、昨年度と比較しても大幅な回復傾向となった。
 スポーツ教室においては、コロナ禍により教室規模を縮小した影響で参加者が横ばい状況であるが、今後は教室開催規模を戻しつつ、市民のニーズにあった教室内容も検討して、回復・向上を図る。
 施設の管理面で光熱水費が高騰状況にあったが、冷暖房の使用を節約・工夫して経費削減に努めた。今後もお客様の利用満足度を保てる範囲で節約し、安全・安心・快適にご利用いただける管理運営に努める。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

・利用者数・使用料収入ともに評価指標を上回った。また、アンケート結果では高い満足度を維持しており、質の高い利用者サービスを実施しているといえる。
 ・自主事業(スポーツ教室等)の実施件数は評価指標を上回ったが、事業参加者数が伸び悩んだ。今後も魅力的な事業の企画に努め、新たな層の集客に期待する。
 ・今後も事故防止を第一に日々の管理を徹底し、安心・安全に留意した施設管理を実施してもらいたい。